

令和5年度全国学力・学習状況調査  
中富良野町の調査結果について

中富良野町教育委員会

全国の子どもたちの学力状況を把握する「全国学力・学習状況調査」が町内の小・中学校でも実施されましたので調査結果をお知らせします。

なお、調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることをご理解の上ご覧ください。

<調査概要>

1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象 小学校第6学年 中学校第3学年

3. 調査内容

①教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語、算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

②質問紙による調査

- ・児童生徒質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等
- ・学校質問紙調査 指導方法に関する取組や教育条件の整備状況等

<調査結果>

1. 調査期日 令和5年4月18日(火) ※英語のみ5月18日(木)

2. 調査の参加者 小学校第6学年 33人 中学校第3学年 36人

3. 調査結果

①教科に関する調査 正答率100%として

【小学校】

科目	全国平均	全国平均に対して 中富良野町の傾向	全道平均	全道平均に対して 中富良野町の傾向
----	------	----------------------	------	----------------------

国語	67.2	上回る	66.0	上回る
算数	62.5	やや上回る	61.0	上回る

### 【中学校】

科 目	全国平均	全国平均に対して 中富良野町の傾向	全道平均	全道平均に対して 中富良野町の傾向
国語	69.8	下回る	69.0	下回る
数学	51.0	下回る	49.0	下回る
英語	45.6	下回る	44.0	下回る

#### ②児童生徒質問紙調査

将来の夢や希望の実現に向けて、他者とより良い人間関係を築き、主体的に学習に取り組む力の育成に関わる項目を抽出。

#### 【家庭での生活・学習について】（数字は%、上段：小学校、下段：中学校）

質 問 項 目	全国平均	全道平均	中富平均
朝食を毎日食べている。	93.9	92.1	96.9
	91.2	88.8	97.3
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	90.2	90.5	93.9
	91.3	91.2	89.1
家で自分で計画を立てて勉強している。	70.7	74.5	66.7
	55.0	54.6	64.8
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強している。	52.5	51.4	27.2
	65.3	61.5	67.5

#### 【学校での生活・学習について】

質 問 項 目	全国平均	全道平均	中富平均
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	78.8	79.4	96.9
	79.2	78.6	75.7
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	83.6	83.8	93.9
	86.3	87.6	86.5
授業では、P C・タブレットなどのI C T機器を週3回以上使用している。	62.4	71.0	97.0
	61.1	64.1	67.6
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。	81.9	81.7	91.0
	69.9	67.6	56.7
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	74.8	76.6	93.9
	72.6	76.7	75.6

#### 【関心・意欲・態度等について】

質 問 項 目	全国平均	全道平均	中富平均
将来の夢や目標を持っている。	81.5	80.4	81.8
	66.3	65.8	59.4
自分には、良いところがあると思う。	83.5	81.1	87.1

	80.0	79.6	67.6
人の役に立つ人間になりたいと思う。	95.9	95.8	93.9
	94.6	93.7	97.3
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	96.9	97.1	100.0
	95.5	95.5	100.0
自分と違う意見について考えるのは楽しい。	76.5	75.4	78.8
	77.6	75.4	73.0

#### 4. 考 察

##### ①教科に関する調査

###### 【小学校】

◎国語と算数ともに全国・全道の平均を上回っている。

###### 【中学校】

◎国語、数学及び英語で全国・全道の平均を下回っている。

##### ②児童生徒質問紙調査

###### 【家庭での生活・学習について】

◎基本的な生活習慣が身に付いており、落ち着いた生活を送っている。

###### 【学校での生活・学習について】

◎意見の発表や話し合いの機会を工夫するなど、コミュニケーション能力の育成に取り組み、成果を上げている。

中富良野町の子どもたちは、学校生活に喜びを感じ、学習やスポーツに目標をもって友達と取り組んでいる。今後も、子どもたちが安心して、より楽しく過ごすことのできる場となるよう指導を充実させていく必要がある。

###### 【関心・意欲・態度等について】

◎中富良野町の子どもたちは、社会で役に立ちたいという意識を持ちながら、自分と違う意見を尊重して生活している。また、いじめはどんなことがあってもいけないことだという認識をしっかりと持っている。今後も学校・家庭・地域が連携し、お互いを認め合える環境づくりに一層努める必要がある。

#### 5. 今後の取組

###### 【教科について】

◎結果の分析を深め、苦手分野を補完し、得意分野を伸ばしていけるよう指導する。

また、効果的にICTの活用を図り「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させる。

###### 【家庭での生活・学習について】

◎確かな学力、基本的な生活習慣がほぼ身に付いている。しかし、個人差もみられることから、学校・家庭・地域が児童・生徒の実態の把握と指導の共有化を図り継続した指導を充実させる。

###### 【学校での生活・学習について】

◎「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて、意見の発表や話し合いの機会を工夫するなどの取組を行い、コミュニケーション能力の育成を充実させる。

◎中富良野町は学校・家庭・地域が一つになり子育てに大変熱心に取り組んでいる。

今後も、子どもたちにとって、学校が安心して、より楽しく過ごすことのできる場となるように、安全指導や他者とより良い人間関係を築く指導を継続する。

###### 【関心・意欲・態度等について】

- ◎中富良野町の子どもたちは将来の夢や希望を抱き、社会に貢献したいという気持ちが高い。その実現に向けて、引き続き小中での連携した取組や家庭・地域と連携した取組を一層強化する。
- ◎自分の言動を振り返るとともに、一人一人が違う存在であるということが認められるよう道徳的教育を大切に、学校・家庭・地域が連携した指導ができるよう工夫する。